



鉢山中だより

渋谷区立鉢山中学校発行
令和2年12月 1日
第9号
〒150-0032
渋谷区鶯谷町9-1

鉢山中学校教育目標

- よく考え、すすんで学ぶ生徒の育成
- 創造性豊かな生徒の育成
- 健康で明るい生徒の育成

節目をうまく生かそう

12月に入りました。コロナ対応で苦勞した令和2年が間もなく終わります。年が明ければ、令和3年のスタートとなります。来年も当初はコロナ対応で苦勞すると思いますが、今年身につけた手洗い・マスク着用といった習慣をしっかりと継続して、適切に対応していきましょう。年末年始という節目をうまく使って、自分なりの切り替えをして新たな年をスタートさせてください。

鎌倉時代末期の吉田兼好は「徒然草」という随筆の中で、年末と年始の様子を次のように書いています。現代語訳で紹介します。…大晦日の夜、暗闇をライトアップして、朝まで他人の家の門を叩いて走り回り、何がしたいのかわからないけど、「ガーだのピーだの」と騒ぎ立て、ハエのように飛び回っている人たちも、夜明け前には疲れ果てて大人しくなり、年が去っていく淋しさを思わせる。精霊が降臨する夜だから鎮魂をすることが続いているのだから感激だ。

こうして、元旦の夜明けは、見た目に普段の朝と変わらないが、状況がいつもと違うので特別な心地がする。表通りの様子も松の木を立てて、きらきらと嬉しそうに笑っているから、格別である…(徒然草 第十九段より)

わずか1日違いで、年末と年始の節目を感じられる作品です。本年度は新型コロナの関係で自粛することになるとと思いますが、年末年始の状況は、現代に通じるものがあると思います。

さて、学校にも、前期・後期の節目があり、「前期を振り返り、後期に反省点を生かし、がんばりましょう」という話が出るとと思います。これは、心理学的に見ても効果のあることです。

ある単純作業を1時間させ、その作業効率を調べるという実験をすると、スタートしてしばらくは、とても効率が高くなり、やがてだんだん効率が下がっていくことがわかっています。しかし、作業の終わりが近づいた時「残り時間10分」と伝え、再び作業効率は上がります。スタート付近で効率が上がることを「初頭効果」、終わりのころに効率が上がることを「終末効果」と言います。

学期の終わりや年の終わり、そして、学期の初めや年の初めという「節目」をうまく生かして、より良い学校生活が送れるようにがんばってください。年末に令和2年の振り返りをしっかりと、令和3年に向かうべき方向を見通してください。「一年の計は元旦にあり」といわれます。冬休み中に、将来の夢に向かっての具体的な計画を立ててみてください。そして、新たな目標をもった冬休み明けには、「初頭効果」が発揮されることを期待しています。

認知症サポート講座

11月6日(金)には、1年生は体育館で認知症サポート講座を受講しました。認知症とはどのような症状があるのかを確認し、そのような人に中学生として、どのような対応ができるのかについて、学んでいきました。



和菓子作り体験

同じく11月6日(金)には、2年生は調理室で和菓子作り体験をしました。外部講師として、プロの職人の方に来ていただき、練り切りのデモンストレーションを見せていただきました。とら焼きをみんなで作り、試食しました。



プログラミング教室

11月14日(土)には、各学年ごとにプログラミング教室が実施されました。外部講師のプログラミングの企業の方に来ていただき、キャラクターを目標の位置に移動させるプログラムなどを作成しました。みんな上手に操作していました。



12月の主な予定

- 12月 1日(火)～3日(木) 2年職場体験学習
- 12月 3日(木)～8日(火) 個別面談
- 12月 5日(土) 土曜授業・道徳授業地区公開講座
- 12月15日(火) 私立高校入試相談
- 12月18日(金) 1年職場訪問
- 12月19日(土) 土曜授業・おもしろ理科講座
- 12月25日(金) 全校集会・タブレット点検
- 12月26日(土) 冬季休業日始
- 1月 7日(木) 冬季休業日終



冒頭の吉田兼好は今から七百年ほど前の人物。今から百年ほど前の明治時代に活躍した正岡子規は、「うしろから追はるるやうな師走哉」と表現しています。12月に入ると毎年何かに追われるように慌ただしい気分になります。正岡子規は明治時代に活躍した人物、吉田兼好は鎌倉時代に活躍した人物ですが、現代でもその雰囲気は変わらないと思います。感染防止対策をしっかりとした上で、12月の慌ただしさをむしろ楽しんで、新しい年を迎える準備をしておきましょう。(文責 校長 畠山直也)